

九州における高速交通網の整備促進及び離島航路・航空路の 運賃低廉化について

九州部会提出
説明担当 大村市

九州地域全体の産業・経済の発展と生活文化の向上を図り、多極分散型の国土形成を促進するためには、高速交通網の整備充実が不可欠である。

中央経済圏から遠隔の地にある九州においては、本州方面及び九州内各地を結ぶ高速交通網の整備が総体的に遅れており、このことが九州の発展を阻害する要因ともなっている。

九州の高速交通網の早期完成は、九州域内のみならず、本州との産業、経済の交流が促進され、地域の医療、防災等の住民生活の安定が図られるなど、多大な波及効果をもたらし、九州地域の一体的発展に貢献するものと期待されている。

よって、国においては、九州地域の一体的発展を図るため、新幹線（九州新幹線西九州ルート）、高規格幹線道路（東九州自動車道、西九州自動車道、九州横断自動車道長崎大分線・延岡線、南九州西回り自動車道）及び地域高規格道路の建設促進、早期全線整備を図られるよう強く要望する。

また、沖縄県における慢性的な交通渋滞の解消と観光産業の更なる発展を図るため、沖縄本島を南北に縦断する鉄軌道を含む新交通システムの早期導入に取り組まれるよう強く要望する。

あわせて、平成25年4月施行の改正離島振興法の趣旨に鑑み、人の往来及び生活に必要な物資の流通に欠かせない離島航路（二次離島航路を含む）・航空路の運賃低廉化を実現されるよう強く要望する。